

1 各種警報等発表時の対応について

種類			自宅にいる場合	登校中	学校にいる場合	下校中
気象台が発表	特別警報		自宅待機 ・午前6時までに解除 →平常授業 ・午前6時を過ぎても特別警報・暴風警報が解除されないとき →当日の授業中止	安全な場所に避難または直ちに帰宅	授業をはじめとする教育活動を即刻中止 下校は下記①、②を学校長が判断 ① 保護者の引き取り下校 ② 校内待機	安全な場所に避難または直ちに帰宅
	警報	暴風			授業をはじめとする教育活動を中止 下校は下記①～③を学校長が判断 ① 安全を確認したうえで下校 ② 保護者の引き取り下校 ③ 校内待機させ、警報が解除された後に安全を確認したうえで下校	
		大雨・洪水	平常登校 (危険な場合自宅待機)	危険な場合は帰宅	平常授業 下校は下記①～④を学校長が判断 ① 通常の下校 ② 安全を確認したうえで下校 ③ 保護者の引き取り下校 ④ 校内待機させ、安全を確認したうえで下校	
		その他				
	注意報	強風・大雨・洪水				
日進市が発表	災害発生の危険度 警戒レベル4「避難指示」以上 気象庁 https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/alertlevel.html 		自宅待機 ・午前6時までに解除 →平常授業 ・午前6時を過ぎても解除されないとき →当日の授業中止	安全な場所に避難または直ちに帰宅	校内待機 校外の避難場所への移動 保護者へ引き渡し等	安全な場所に避難または直ちに帰宅

※ 平常登校および平常授業の場合においても、災害の状況及び気象・通学路の状況等を踏まえて、休業や授業の中止を決定する。

※ 児童生徒の居住する地域の災害の状況及び気象・通学路の状況等により、安全に登校できないと保護者が判断し、登校を見合わせる場合はCoDMONで学校へ連絡すること。

※ 台風が接近しており、暴風警報等の発表が予測される場合は、原則として給食を中止する(前日までにCoDMON等で連絡)。この場合、午前6時の時点で暴風警報等が発表されていなければ、弁当持参で平常授業となる。

2 大規模地震、Ｊアラート、災害・事件・事故発生時の対応について

種類		自宅にいる場合	登校中	学校にいる場合	下校中
南海トラフ地震 臨時情報 南海トラフ地震 関連解説情報 気象庁 https://www.data.jma.go.jp/ev/data/nteq/info_criterion.html 	調査中	自宅待機 ・午前6時を過ぎても調査終了にならないとき →当日の授業中止	直ちに 帰宅	学校の安全場所に避難 下記①～③を学校長が判断 ① 安全を確認したうえで下校 ② 保護者の引き取り下校 ③ 校内待機	直ちに 帰宅
	巨大地震警戒	※ 「巨大地震注意」が長期間続く場合は、その後の対応をC○DMONで連絡	安全な場所に避難 または直ちに帰宅	授業をはじめとする教育活動を即刻中止 学校の安全場所に避難 下記①、②を学校長が判断 ① 保護者の引き取り下校 ② 校内待機	直ちに 帰宅
	巨大地震注意				
	調査終了	・午前6時までに調査終了→平常授業			
Jアラート（ミサイル）の緊急 情報（愛知県） 内閣官房国民保護ポータルサイト https://www.kokuminhogo.go.jp/kokuminaction/jalert.html 	情報発令	自宅待機	安全な場所（建物）に避難	学校の安全場所に避難 下記①～③を学校長が判断 ① 安全を確認したうえで下校 ② 保護者の引き取り下校 ③ 校内待機	安全な場所（建物）に避難
	日本の領土・領域内へ落下した	自宅待機 その後の対応については、C○DMONで連絡			
	日本の上空をミサイルが通過し、領域外に出た・領域外に落下した	自宅待機を解除 速やかに登校	通常登校	平常授業	そのまま帰宅
災害・事件・事故発生時		状況により 自宅待機	危険な場合は帰宅	学校の安全場所に避難 下記①～③を学校長が判断 ① 安全を確認したうえで下校 ② 保護者の引き取り下校 ③ 校内待機	安全な場所に避難 または直ちに帰宅

Ｊアラート：日進市では、市内6箇所に設置された防災サイレンを吹鳴することでお知らせします。サイレンは、有事に関する情報として14秒の吹鳴と休止を3回繰り返します。